

企業概要



株式会社 薄衣電解工業

代表取締役 大森 薫

(所在地：岩手県北上市)



当社について

当社は、1960年に創業、1985年に北上工場を設立した、金属表面処理業者です。

電気・無電解めっきによる精密機能めっきを得意としております。めっきの種別は色調などを含めると30種類以上にのぼり、バレル・ラック・フープ等様々な工法に対応できる生産体制を整備しております。

当社では、地域との共生を重要課題とし、これまで、地域の清掃活動や、小学校・中学校・高校からの工場見学の受入れ等に積極的に取り組んで参りました。今後もこうした活動を継続するとともに、地域の活性化、将来の地域を支える人材との交流を図ってまいります。

また、当社は社員のワークライフバランスの充実を図るため、業務効率化による勤務時間の適正化や定年後の雇用継続に努めます。さらに、資格取得支援・専門講座の受講等により、社員の技能向上、専門知識習得の支援を継続して行います。

現状のSDGsに対するマテリアリティ（重要課題）

大項目	マテリアリティ（重要課題）
環境の保全	温室効果ガス排出量の削減、水使用量削減や再生水利用、廃棄物の3Rの推進
従業員の働きがい	休暇の取得奨励、子育てと仕事の両立支援、従業員のキャリア開発
地域社会への貢献	地域とのコミュニケーション、産学官連携、まちや河・海の自然の保護活動
コンプライアンス・ガバナンス	消費者・顧客課題解決、業務効率化や生産性の向上、デジタル技術の活用

株式会社 薄衣電解工業 SDGs宣言書

当社は、国際連合で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に、
以下のマテリアリティ（重要課題）への取り組みを通じて貢献します。



2026年1月30日
株式会社 薄衣電解工業
代表取締役 大森 薫

マテリアリティ（重要課題）

環境の保全

環境関連の法令遵守と環境保護に配慮した事業活動に取り組むとともに、環境経営に関する社内浸透を進めます。

▼目標・取り組み内容

- ・CO2排出量を、2010年度比で半減させる
- ・排水量の削減を進める
- ・貴金属（パラジウム）のリサイクル率を80%以上に引き上げる



従業員の働きがい

ワークライフバランスと従業員のキャリア開発によりディーセントワークを意識した経営を目指します。

▼目標・取り組み内容

- ・有給休暇取得率を政府目標である70%以上に維持する
- ・男性の育児休業等取得率を30%以上にする
- ・技能検定の新たな合格者を2名/年以上にする

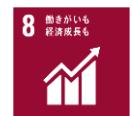


地域社会への貢献

地域との共生を重要課題とし、将来の地域を支える人材との交流に取り組みます。

▼目標・取り組み内容

- ・地域の小学校、中学校、高校からの工場見学受け入れ
- ・高校からのインターンシップ受け入れ
- ・地域美化運動の実施



コンプライアンス・ガバナンス

法令等遵守最優先の社内体制整備と、業務の効率化を推進します。

▼目標・取り組み内容

- ・顧客満足度の向上
- ・品質・生産性の向上
- ・自社開発生産管理システムの効率的活用



さあ、ユニークバンクへ。
 北日本銀行

【企画・制作協力：株式会社日経リサーチ 「SDGs経営推進プロジェクト】